



2015年10月30日
三和ホールディングス株式会社
www.sanwa-hldgs.co.jp

第81期 2016年3月期 第2四半期決算説明資料



目 次

■ はじめに

1. 2015年度上期・通期のポイントと最近の業績推移
2. 建設環境(日本・米国・欧州)

■ 2015年度上期 (実績)

3. 決算ハイライト
4. 連結売上実績(セクター別)
5. 営業利益増減要因

■ 2015年度通期 (予想)

6. 通期予想ハイライト
7. 連結売上予想(セクター別)
8. 営業利益増減要因

■ 財務ハイライト

9. 財務ハイライト

■ 第一次3カ年計画の進捗

10. 重点方針の進捗について
11. アジアの事業基盤確立
12. グローバル・シナジーの発揮

◆参考資料

1. セクター別連結業績の概要
2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向
3. 日本:製品別受注・売上高(三和シャッター)
4. // 三和シャッター工業受注状況
5. 米州:部門別売上高(ODC)
6. 欧州:所在地別売上高(NF)
7. 主要経営指標
8. 設備投資額と減価償却費
9. トピックス

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※当社は、非支配株主持分がなく、当期純利益と親会社株主に帰属する当期純利益が同額となるため、資料上は当期純利益と表示しています。

1. 2015年度上期・通期のポイントと最近の業績推移

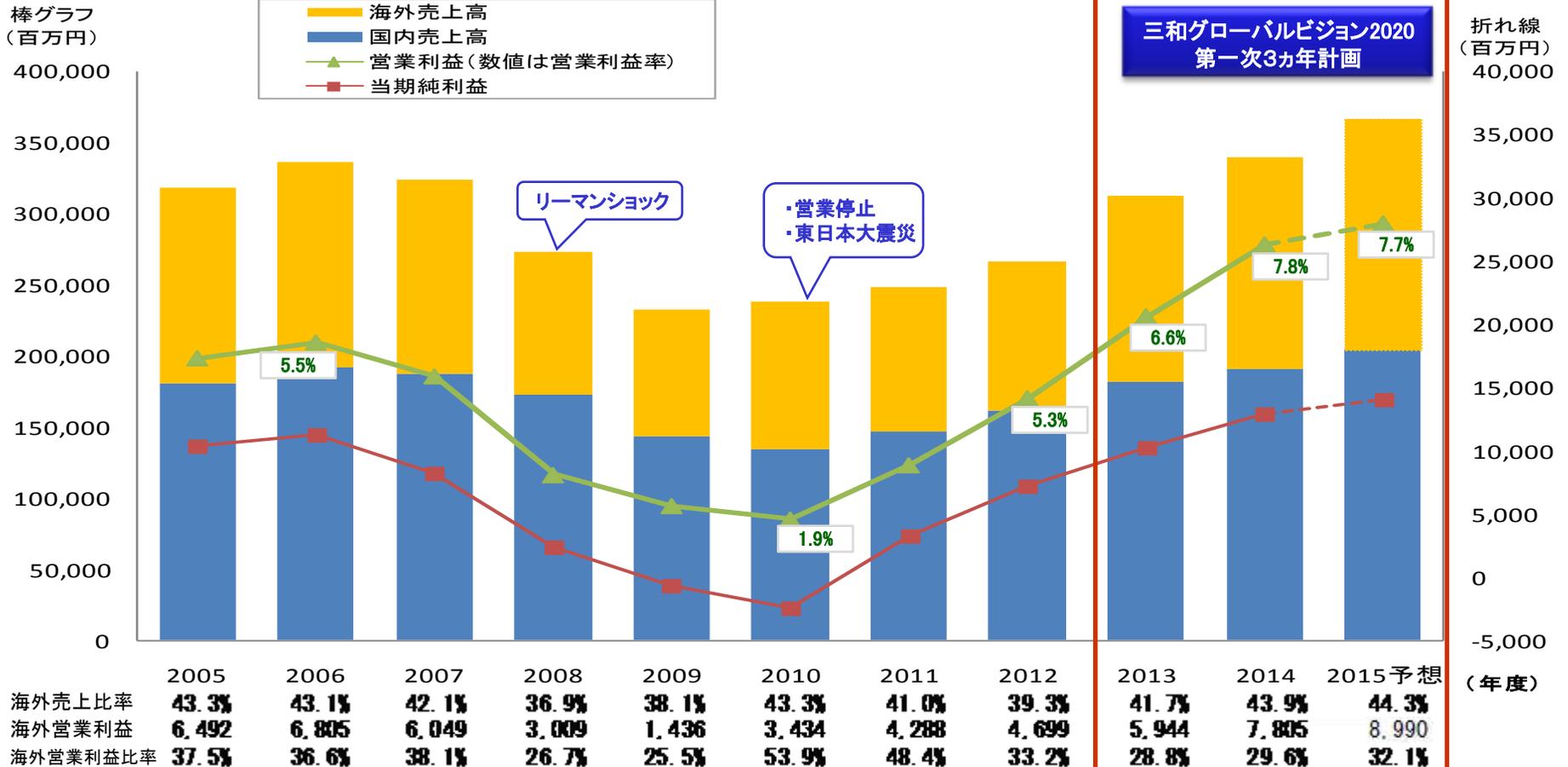
■ 上期実績ポイント

- ・連結売上高は期初予想並み、営業・経常利益は米国事業の不振により未達、純利益は予想を確保

■ 通期予想ポイント

- ・国内が好調を維持しており、売上高は若干減額するものの、各利益は期初予想を達成し、3年連続最高益を更新の見込み
- ・株主還元の充実に目的に、昨年に引き続き、自社株取得を決定

	米ドル	ユーロ
2012	80.12	103.46
2013	97.99	130.56
2014	106.46	140.35
2015	120.00	130.00
(予想)	(期中平均レート)	



2. 建設環境(日本・米国・欧州)

■建設環境

		2013		2014		2015				2016			
				実績		修正予想	期初予想	予想					
日本	住宅着工戸数	千戸	987	10.6%	880	-10.8%	↗	923	4.8%	917	4.2%	963	4.3%
	非住宅着工床面積	千㎡	47,679	7.0%	45,013	-5.6%	↘	45,498	1.1%	46,548	3.4%	46,473	2.1%
	民間企業設備投資	10億円	71,546	4.0%	71,904	0.5%	↗	74,133	3.1%	73,617	2.4%	77,914	5.1%
米国	住宅着工戸数	千戸	925	18.5%	1,003	8.4%	↗	1,130	12.7%	1,140	13.7%	1,280	13.3%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,090	9.2%	4,940	-2.9%	↗	5,284	7.0%	5,275	6.8%	5,468	3.5%
	非住宅着工床面積	百万Sq Ft	811	4.4%	899	10.8%	↗	930	3.5%	927	3.1%	1,028	10.5%
	設備投資	10億ドル	1,523	3.0%	1,619	6.3%	↘	1,670	3.1%	1,707	5.4%	1,738	4.1%
欧州	住宅完工戸数(独仏伊蘭)	千戸	793	2.1%	757	-4.5%	↗	731	-3.5%	645	-14.8%	744	1.8%
	非住宅建物投資(独仏伊蘭)	百万ユーロ	84,813	-5.4%	82,499	-2.7%	↘	82,711	0.3%	83,238	0.9%	85,033	3.1%
ドイツ	住宅完工戸数	千戸	188	6.7%	215	14.1%	↘	225	4.7%	235	9.3%	240	11.6%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	29,709	-3.0%	30,066	1.2%	↘	30,367	1.0%	30,654	2.0%	30,822	2.5%

※出典：(日)国土交通省2015.04、建設経済研究所2015.10

(米) Blue Chip Economic Indicators 2015.10、National Association of Realtors 2015.10、McGrawHill 2015.07、(欧) Euroconstruct 2015.06

日米の2015-16設備投資予想はニッセイ基礎研究所2015.09

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

※ ↗ ↘ は期初予想との比較

<建設環境見通しについて>

日本：2015年度住宅着工は、前年の反動で回復傾向が続いている。非住宅着工床面積は、前年からは微増となるものの、着工遅延等により動きが鈍く、期初見通しほど回復しない見込み。

米国：2015年の新規住宅着工および中古住宅販売は、期初見通しのおり堅調に推移している。設備投資は、ドル高・エネルギー安の影響などにより、期初見通しから下振れしている。

欧州：2015年度のドイツは住宅・非住宅とも期初見通しほど回復しない見込み。欧州住宅市場の回復は、フランス住宅市場の、マイナス幅縮小による。

■ 2015年度 第2四半期（実績）
2015年4月～2015年9月

《上期連結実績》

	上期実績	1Q	2Q	期初予想	予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,609億円 【1,542億円】	669億円	940億円	1,600億円	+9億円 (+0.6%)	1,464億円	+145億円 【+78億円】	(+9.9%) 【+5.4%】
営業利益	60.5億円 【59.0億円】	▲11.6億円	72.1億円	67.0億円	▲6.5億円 (-9.7%)	71.4億円	▲10.9億円 【-12.4億円】	(-15.3%) 【-17.4%】
経常利益	56.4億円 【55.2億円】	▲13.0億円	69.4億円	63.0億円	▲6.6億円 (-10.5%)	68.3億円	▲11.9億円 【-13.1億円】	(-17.4%) 【-19.2%】
当期純利益	32.3億円 【31.5億円】	▲12.0億円	44.3億円	32.0億円	+0.3億円 (+0.8%)	32.9億円	▲0.6億円 【-1.4億円】	(-1.8%) 【-4.2%】

【】内は、14年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《決算のポイント》

〈要約〉	売上は、国内事業の増収、アルファ社買収寄与、円安効果もあり大きく伸びたが、営業利益は、米国事業が原材料価格の上昇影響、連結の販売管理費の伸びが大きく、減益となった。
売上高	売上は、+9.9%(+145億円)の増収(為替影響を除くと+78億円)。期初予想比+9億円。 国内Gは、+5.6%(+47億円)の増収。三和シャッターは+40億円(予想比では+19億円)、他国内グループ会社は+7億円(予想比では+2.8億円)となった。 米国(ODC)は、現地通貨において+0.1%(+\$0.37百万≒+0.37億円)の前年並み(予想比では▲\$13.8百万)。 欧州(NF)は、現地通貨において+15.6%(+€24.6百万≒+34億円)の増収となった(予想比では▲€8.6百万)。アルファ社寄与+€32.0百万。
営業利益	営業利益は、▲15.3%(▲10.9億円)の大幅減益(為替影響を除くと▲12.4億円)。期初予想比▲6.5億円。 国内Gは+5.4%(+3.1億円)の増益。三和シャッターが+6.9%(+3.6億円)の増益。予想比においても+3.5億円となった。他国内グループ会社は、前年比▲12.5%(▲0.6億円)であるものの、予想比+1.5億円となった。 米国(ODC)は、現地通貨において▲48.6%(▲\$7.5百万≒▲7.7億円)の大幅減益、予想比▲\$8.0百万。原材料価格上昇が主因。 欧州(NF)は、現地通貨において▲€0.4百万≒▲0.6億円の悪化となり、予想比▲€1.9百万となった。アルファ社寄与+€2.2百万。
経常利益	経常利益は、▲17.4%(▲11.9億円)の大幅減益。期初予想比▲6.6億円。 営業外損益は、▲カナダドル下落による為替差損等により▲1.0億円の悪化。持分法投資損益は+1.2億円改善した。
当期純利益	当期純利益は、▲1.8%(▲0.6億円)の微減益であるものの、期初予想比+0.3億円。 特別損益が、昨年の事業会社リストラ費用などが無くなり、+6.1億円改善した。

為替レート	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6
1ドル	79.78	95.90	102.23	120.48
1ユーロ	103.76	125.79	139.87	133.83

4. 2015年度 第2四半期 連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

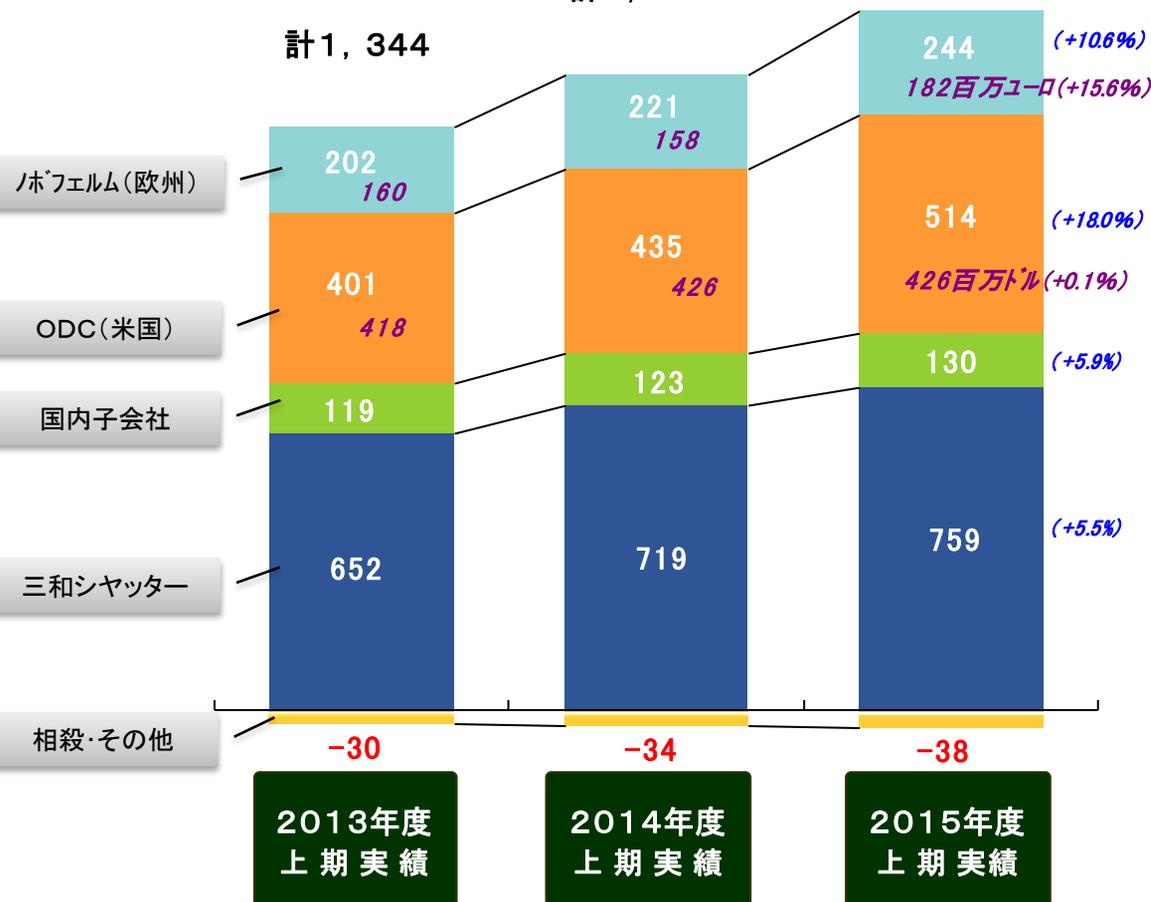
売上高

計 1,609 (+9.9%)

1,542億円 (+5.4%)
前年為替レート換算

計 1,464

計 1,344



※三和シャッターは、同社のみ個別数値
(三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)> (29ページ参照)

現地通貨で+15.6%の大幅増収

- ① ガレージドアは競合値下げへ追随の影響により、減収 (▲1.5%)
- ② ヒンジドア事業は、工場の生産トラブルにより、減収 (▲9.1%)
- ③ 産業用ドアは、アルファ社寄与が大きく、大幅増収 (+75.9%)

<ODC(米国)> (28ページ参照)

現地通貨で+0.1%の微増収

- ① ドア事業は、微増収。ガレージドアは、一部の低採算取引縮小により減収、商業用は好調維持なものの、CDSはカナダドル安により苦戦し減収 (+0.4%)
- ② 開閉機は前年キャンペーン特需の反動で減収 (▲3.5%)
- ③ 自動ドアは新ERP導入混乱から回復し、大幅増収 (+14.7%)
- ④ 車両用ドアは、前年大口受注の反動で大幅減収 (▲12.8%)

<国内子会社>

+5.9%の増収

- ① 昭和フロントはグループ連携等により増収 (+6.2%)
- ② 沖縄三和は、堅調な経済環境と多品種化の進展により大幅増収 (+11.1%)
- ③ 三和タジマは短期物件の取込みなどが進み、増収 (+5.1%)

<三和シャッター> (26ページ参照)

+5.5%の増収

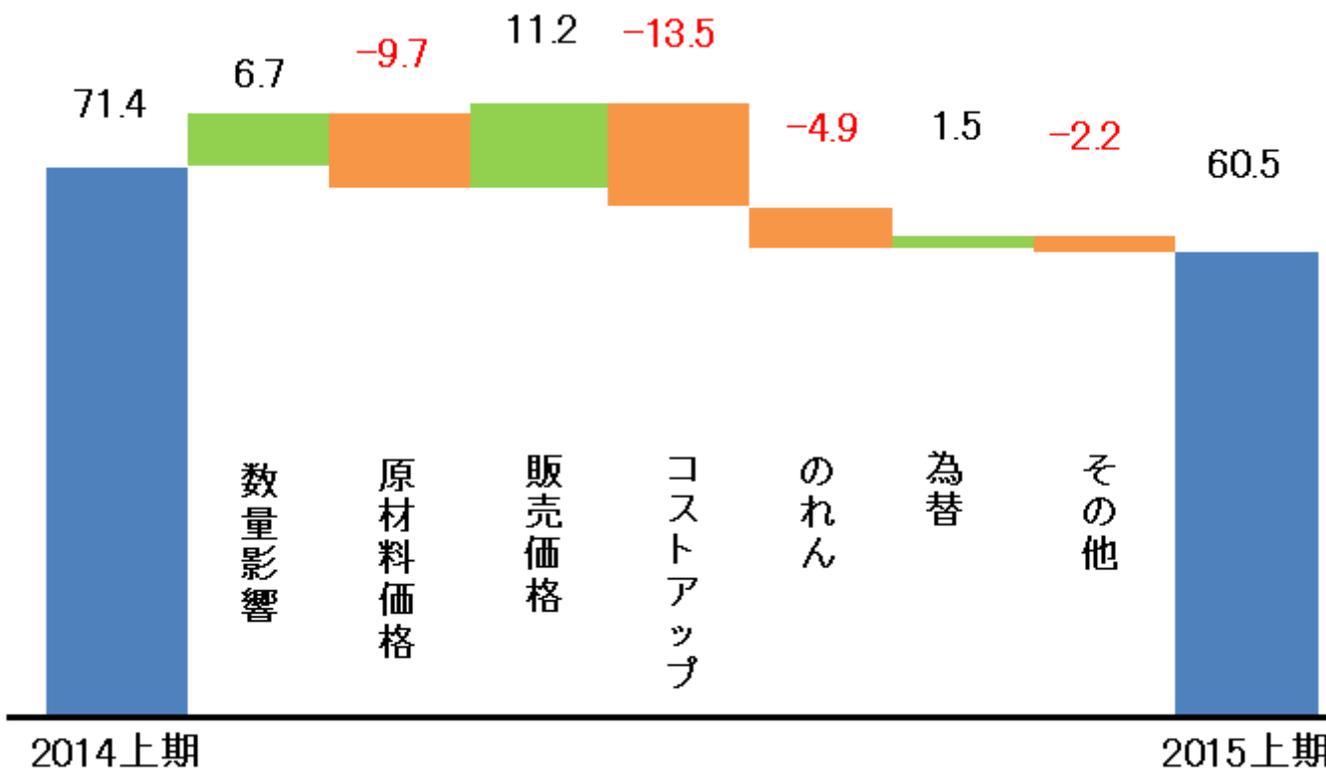
- ① 軽量シャッターは、住宅着工回復に伴い増収 (+3.0%)
- ② 重量シャッターは、倉庫、工場等の売上げが伸び、増収 (+5.6%)
- ③ ビル・マンションドアは、前年大幅伸びの反動、またマンション、医療施設用が伸びず微増収 (+1.3%)
- ④ メンテ・サービスは、施主営業を強化し増収 (+3.2%)
- ⑤ 間仕切は、引き続きトイレブース、スチールパーティションなどラインナップを充実させ大幅増収 (+10.6%)

為替レート	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6
1ドル	79.78	95.90	102.23	120.48
1ユーロ	103.76	125.79	139.87	133.83

5. 営業利益増減要因(連結実績)

三和グループ(連結)

単位:億円

前年比
-10.9億円

■前年比ポイント:数量や価格改善による利益の伸び以上に、販管費を中心としたコストが増加した。

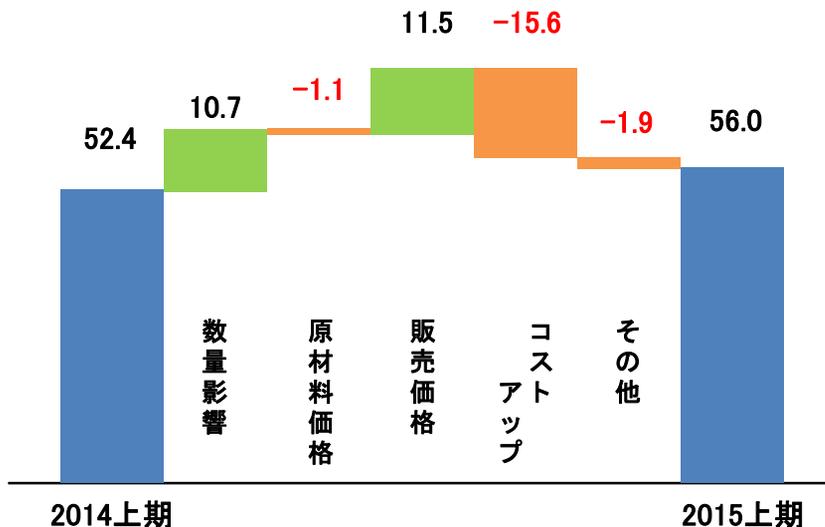
三和シャッターは、数量増効果および不採算案件の減少による販売価格効果などが増益の主な要因。ODCは、原材料価格の上昇の影響が大きな減益要因となり、NFは、数量減影響および、販売価格の引き下げが減益要因。

5. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

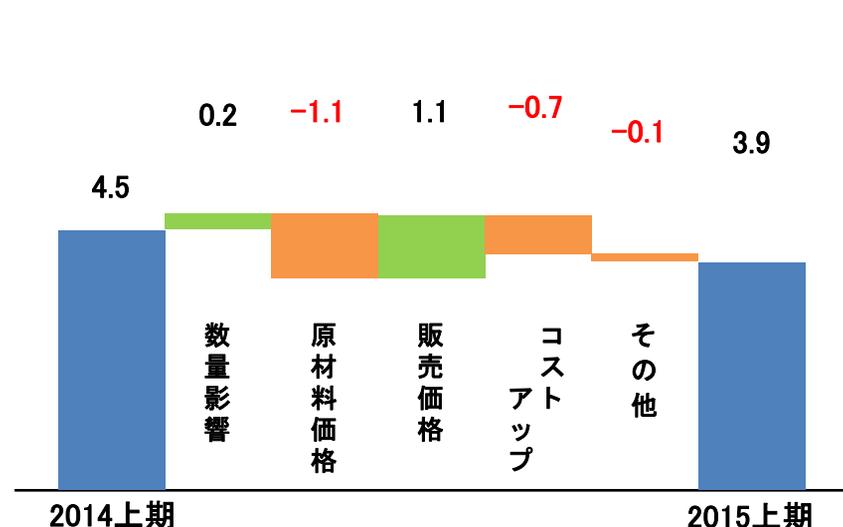
三和シャッター

単位: 億円



国内子会社

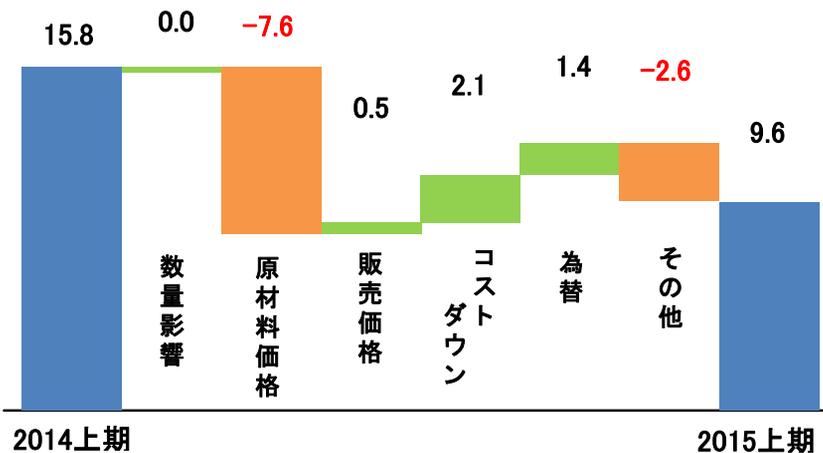
単位: 億円



ODC

為替レート(米ドル)
2014 102.23円
2015 120.48円

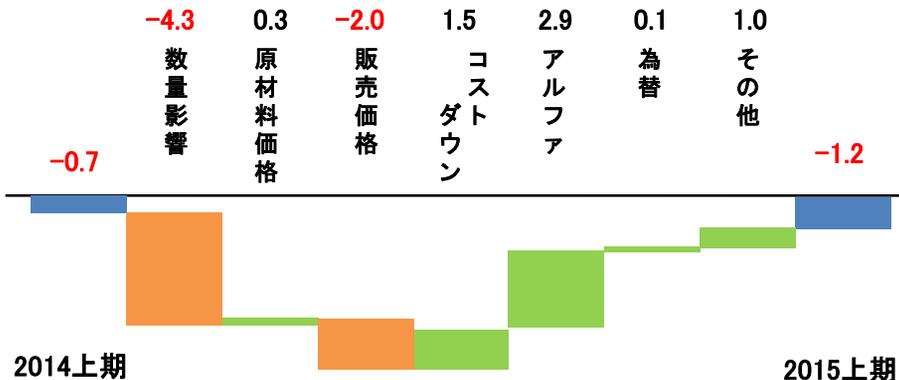
単位: 億円



ノボフェルム

為替レート(ユーロ)
2014 139.87円
2015 133.83円

単位: 億円



■ 2015年度 通期(予想)

2015年4月～2016年3月

《2015年度通期予想》

	通期予想	期初予想	期初予想比	上期実績	下期予想	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	3,660億円 【3,574億円】	3,700億円	▲40億円	1,609億円	2,051億円	3,390億円	+270億円 【+184億円】	(+8.0%) 【+5.4%】
営業利益	280.0億円 【272.6億円】	280.0億円	±0.0億円	60.5億円	219.5億円	263.3億円	+16.7億円 【+9.3億円】	(+6.3%) 【+3.5%】
経常利益	274.0億円 【266.9億円】	274.0億円	±0.0億円	56.4億円	217.6億円	259.8億円	+14.3億円 【+7.1億円】	(+5.5%) 【+2.8%】
当期純利益	140.0億円 【135.7億円】	140.0億円	±0.0億円	32.3億円	107.7億円	128.6億円	+11.4億円 【+7.1億円】	(+8.9%) 【+5.5%】

【 】内は14年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《予想のポイント》

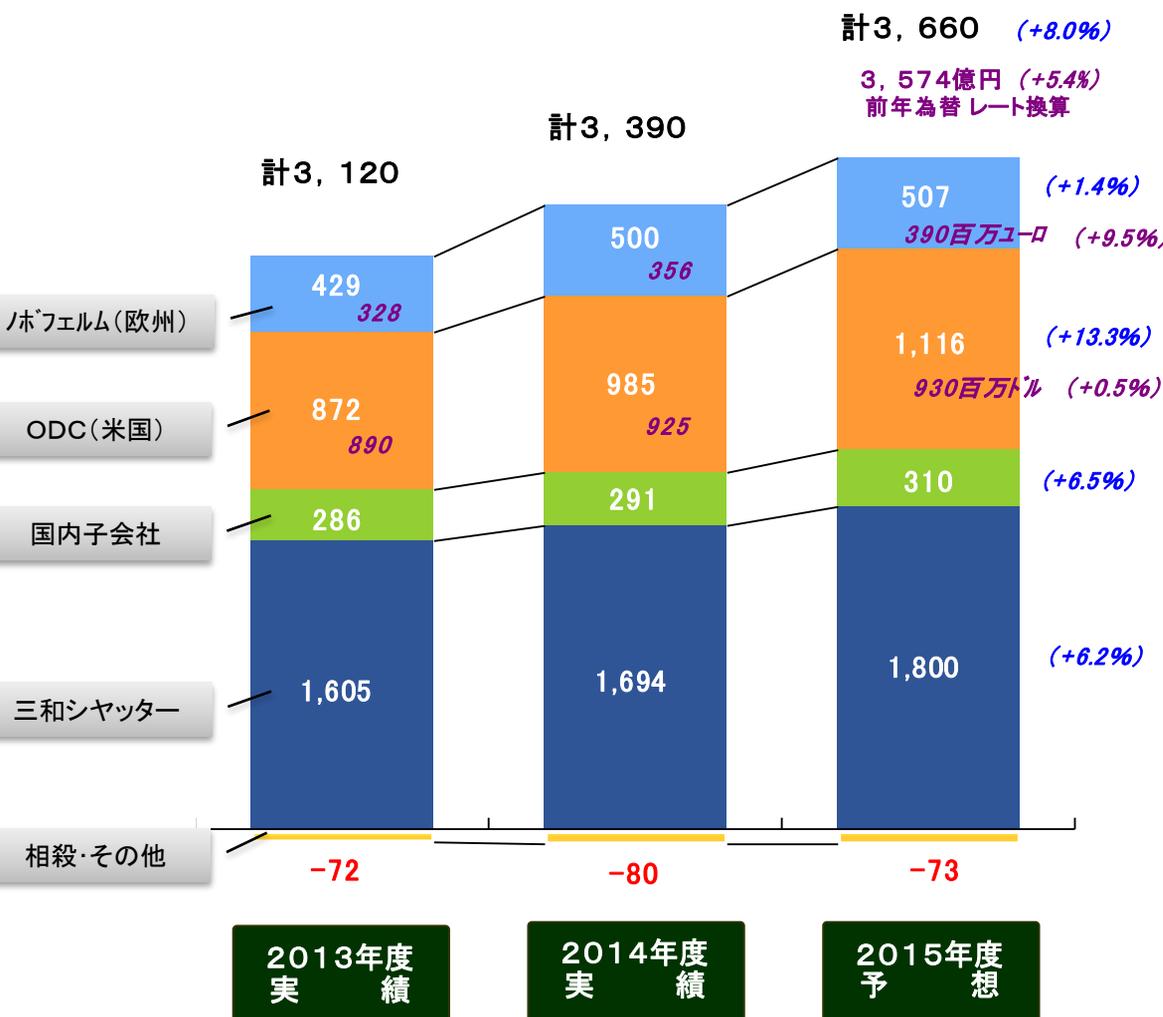
〈要約〉	連結見通しの売上高は減額するが、各利益は期初予想を据え置き、3年連続の最高益を見込む。
売上高	売上は、+8.0%(+270億円)の増収予想(為替影響を除くと+184億円)。期初予想比▲40億円の減額修正。 国内Gは、+6.3%(+125億円)の増収。三和シャッターは期初予想から+15億円の増額修正し、+106億円の増収予想、他国内グループ会社は、期初予想から+3.5億円の増額修正し、+19億円の増収予想。 米国(ODC)は、期初予想から▲\$55百万の減額修正となり、現地通貨において+0.5%の前年並予想。 欧州(NF)は、期初予想から▲€5百万の減額修正ではあるが、アルファ社の寄与が大きく、現地通貨において+9.5%(+€33.8百万≒+47億円)の増収予想。アルファ社の通年売上は、€72百万の予想。
営業利益	営業利益は、+6.3%(+16.7億円)の増益予想(為替影響を除くと+9.3億円)。 国内Gは+6.5%(+12.5億円)の増益。三和シャッターが期初予想を+5.5億円増額修正し、+5.9%(+10.3億円)、他国内グループ会社は、期初予想を+1.5億円増額修正し、前年比+12.9%(+2.2億円)の増益予想。 米国(ODC)は、期初予想を▲\$9百万減額修正し、現地通貨において+6.4%(+\$3.8百万≒+4.1億円)の増益予想。 欧州(NF)は、期初予想を▲€0.5百万減額修正したが、現地通貨において+2.6%(+€0.3百万≒+0.4億円)の増益予想。アルファ社の営業利益は、通年で€6.9百万の予想。
経常利益	経常利益は、+5.5%(+14.3億円)の増益予想。 営業外損益は、持分法投資損益が+3.0億円改善するが、金融収益が減少し、前年比▲2.4億円の見込み。
当期純利益	当期純利益は、+8.9%(+11.4億円)の増益予想。 特損が20億円減少し、特損益が+14億円改善する見込み。

為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

7. 2015年度 連結売上予想(セクター別)

単位
 億円 百万ドル 百万ユーロ
 (前年増減率)

売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値 (三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)> (29ページ参照)
 現地通貨で+9.5%増収
 ① ガレージドアは、住宅市場が回復傾向になり増収 (+1.9%)
 ② ヒンジドア事業は、生産トラブルは解消に向かうも減収 (▲4.9%)
 ③ 産業用ドアは、上期アルファ社の寄与が大きく、大幅増収 (+32.4%)

<ODC(米国)> (28ページ参照)
 現地通貨で+0.5%の微増収
 ① ドア事業は、ガレージドアの低採算取引の縮小、CDSの原油安、カナダドル安による不調が影響し、商用ドアが好調であるものの微増収にとどまる (+0.4%)
 ② 開閉機は下期に持ち直し、増収確保 (+1.7%)
 ③ 自動ドアは、前年のERP導入に伴う出荷遅れの反動増および買収寄与により大幅増収 (+14.1%)
 ④ 車両用ドアは前年の大口顧客からの受注増の反動により大幅減収 (▲23.6%)

<国内子会社>
 +6.5%の増収
 ① 昭和フロントは、キャンペーン効果やグループ連携が奏功し増収 (+7.3%)
 ② 沖縄三和は、引き続き建設投資が堅調なことおよび多品種化の進展により増収 (+6.0%)
 ③ 三和タジマは、ブランドショップなど商業施設他の伸長による増収 (+5.6%)

<三和シャッター> (26ページ参照)
 +6.2%の増収
 ① 軽量シャッターは住宅用途が回復し増収 (+3.3%)
 ② 重量シャッターは、物流倉庫・大型店舗等の手持ち案件が完工し、増収 (+8.3%)
 ③ ビル・マンションドアは、手持ち案件は豊富なものの、完工予定が少なく、微増収 (+1.2%)
 ④ メンテ・サービスは施主営業強化により増収 (+4.5%)
 ⑤ 間仕切は、多品種化対応の定着により大幅増収 (+12.1%)

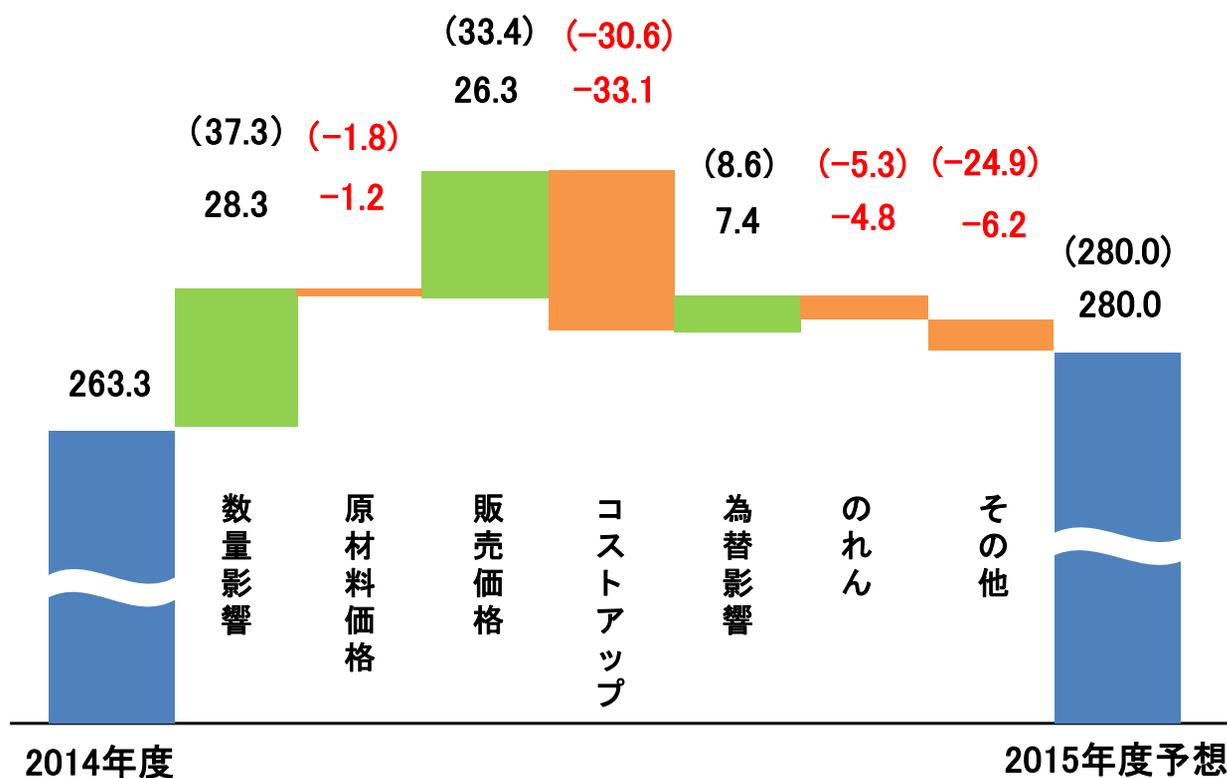
為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

8. 営業利益増減要因(連結)

三和グループ(連結)

() 内は期初予想

単位: 億円

予想比
+0.0億円前年比
+16.7億円

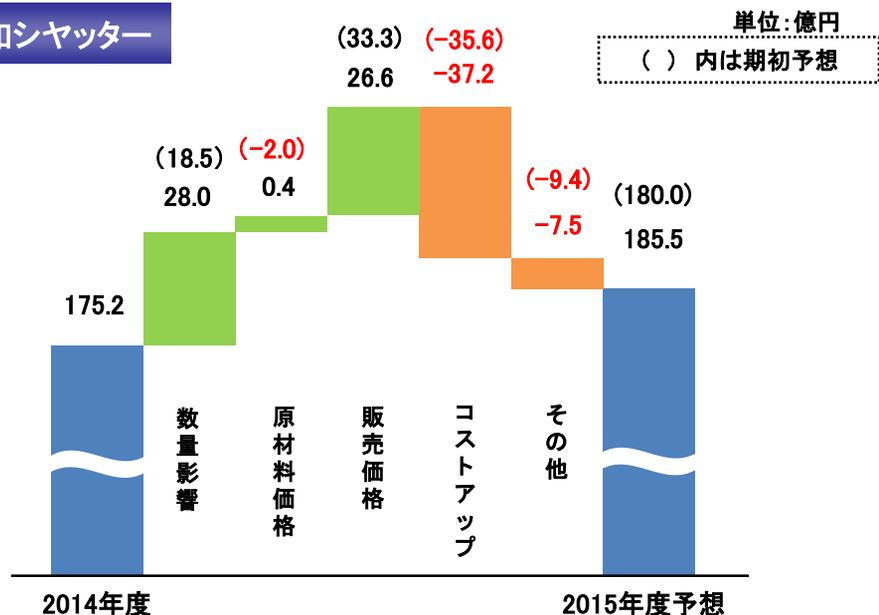
■ 2015年度修正予想のポイント

1. 国内は、不採算物件の改善等による販売価格効果が、期初予想ほど伸びないが、数量効果と原材料価格が期初予想より改善する見込み。
2. 米国は、年終盤にかけて鋼材価格下落効果が見込めるが、期初に期待していた数量効果見込みが減額予想。
3. 欧州は、数量影響がマイナスになった分を、原材料下落効果およびコスト削減施策を積み増して補う。

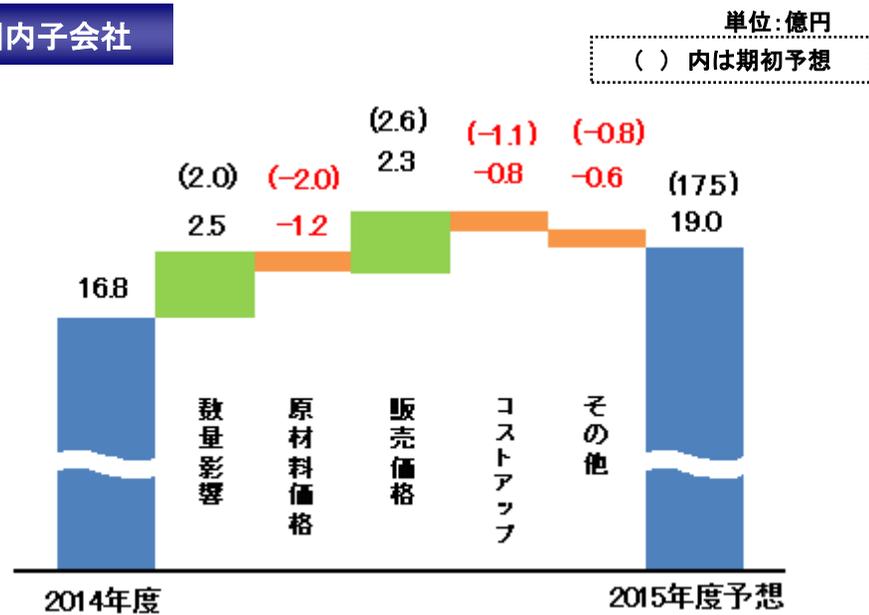
8. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

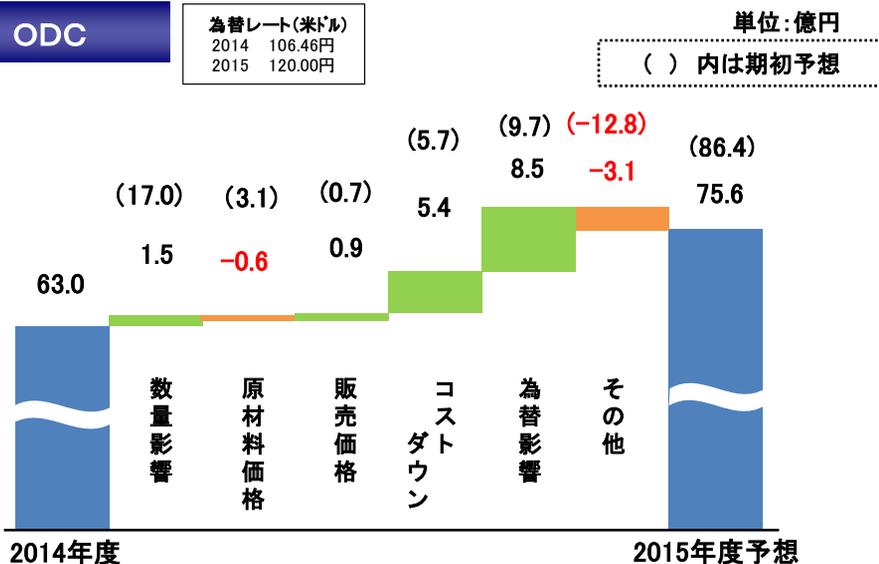
三和シャッター



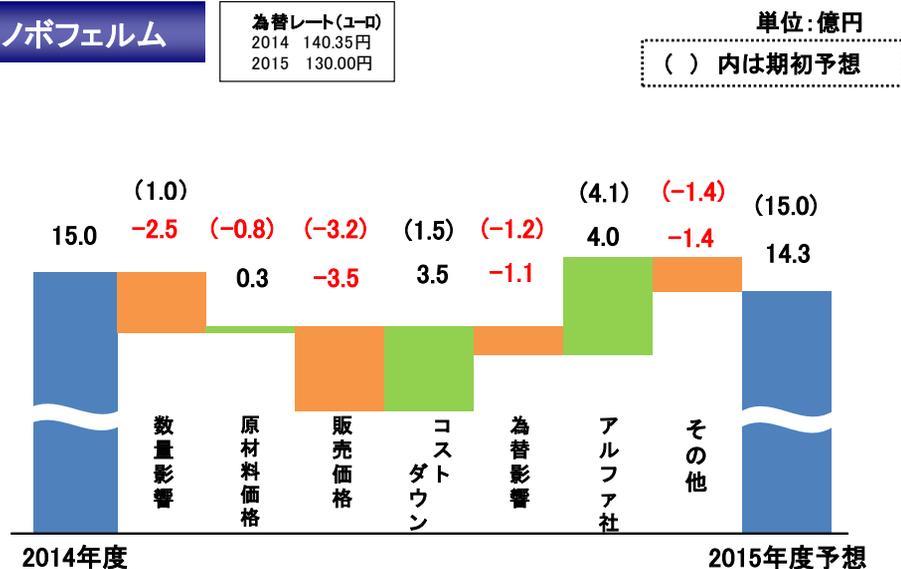
国内子会社



ODC



ノボフェルム



■ 財務ハイライト

9. 財務ハイライト①

1. B/Sの状況

(百万円)

	2014年		2015年		前年同月比 増減額
	9月	比率	9月	比率	
流動資産	169,987	59.0%	190,954	60.2%	+20,967
現金・現金同等物	49,908	17.3%	60,690	19.1%	+10,782
売掛金等、在庫	110,830	38.4%	121,856	38.4%	+11,026
固定資産	118,257	41.0%	126,227	39.8%	+7,970
投資有価証券	14,832	5.1%	19,443	6.1%	+4,611
総資産	288,245		317,181		+28,936
有利子負債	75,112	26.1%	83,468	26.3%	+8,356
(D/Eレシオ)	0.65		0.65		
その他負債	97,277	33.7%	105,814	33.4%	+8,537
純資産	115,856	40.1%	127,899	40.2%	+12,043
為替調整勘定	7,056		15,496		+8,440

■ 増収による売上債権増

■ 今期社債100億円償還予定

■ US\$ 高の影響

2. 特別損益の状況

(百万円)

	14年度実績	15年度		
		上期実績	通期見通し	期初予想
固定資産処分	▲30	▲7	▲100	▲100
固定資産減価	▲2,993	0	0	0
投資有価証券売却、評価損	▲88	▲59	▲100	▲100
子会社事業再構築	▲1,300	▲72	▲1,200	▲1,200
その他	▲58	▲37	▲1,010	▲1,000
特別損失計	▲4,469	▲175	▲2,410	▲2,400
特別利益	673	8	10	0
特別損益計	▲3,796	▲167	▲2,400	▲2,400

9. 財務ハイライト②

3. キャッシュフロー

	2014年9月	2015年9月	前年増減
税金等調整前四半期純利益	6,051	5,473	-578
減価償却費	3,301	3,796	495
のれん償却	235	724	489
法人税等の支払額	-4,968	-5,127	-159
運転資本	-783	1,631	2,414
その他	4,649	3,683	-966
営業活動によるCF	8,485	10,180	1,695
投資活動によるCF	-18,866	-9,751	9,115
FCF(営業CF+投資CF)	-10,381	429	10,810
財務活動によるCF	5,692	-6,287	-11,979

■ 運転資本:債権回収が進み改善

■ 投資CF:前期アルファ社買収

■ FCF:前期から108億円増加

4. 株主還元について

①配当

■ 2015年度配当予想

期初予想どおり20円（中間10円、期末10円予定）

※今期から配当性向を30%→35%に見直し

②自己株取得

■ 今回概要 : 自己株を、50億円もしくは7,500千株を上限として取得することを決定。

■ 取得期間 : 2015年11月2日～2016年1月29日

■ 方針 : M&Aなど戦略投資の予定・規模を勘案したフリー・キャッシュフローの状況により機動的に実行

■三和グローバルビジョン2020
第一次3カ年計画の進捗

10. 重点方針の進捗について(日本)

1. 総合力

- 国内グループ連携強化による、多品種化への取り組み
エントランス周辺商品(ステンレス、フロント、自動ドア、メールボックス等)を、国内グループにおいて、連携した受注活動を展開中

2. 伸ばすべき商品

- 間仕切 : スチール・ガラスパーティション、トイレブースの品揃え強化
➡ 上期受注: 前年比+10.4%
- 防水商品 : 集中豪雨の多発により、防水商品/ウォーターガードシリーズの品揃えを増やし、受注が順調に増加
- エクステリア: 全国販売拠点で拡販中 ➡ 上期受注: 前年比+16.8%

3. 工事力の強化

- 工事供給能力強化のための施工技術者の育成
国内事業を支える施工技術者について、継続的な強化・支援策の実施
- ①人員増強: 約100名増(上期実績)
- ②取付単価一部見直しなど、待遇改善を実行
- ③施工研修センター等において、各種育成プログラムを実施
- ④モチベーション向上のため、重量シャッター施工コンテスト実施(15年4月)

4. 点検法制化対応

- 2016年6月スタート予定に向けた準備対応中
検査内容、検査する建物用途、検査頻度など制度の詳細は、今後国から発表予定。

5. 生産供給体制

- パーティション、スチールドア、マンションドア等の生産能力強化
静岡、太田ドア、広島、三和タジマなどの設備更新・増強を順次実施

10. 重点方針の進捗について(米州)

1. ドア、開閉機事業の拡大

市場ニーズに応える新商品投入やコストダウンによる市場を上回る成長

ドア事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ガレージドア事業の強化:新デザインのガレージドアを発売し、OHD・WDチャンネルで発売 ・ウェインダルトンのシャッター、商業用ドアの拡販 →上期実績:前年比+12.1%
開閉機事業	<ul style="list-style-type: none"> ・NFと共同開発した商業用開閉機に続いて、ガレージ用低価格帯開閉機を、米国大手ホームセンターで販売開始



2. 川下戦略

利益率が高く、市場環境に影響を受けにくい施工・サービス事業の拡大

単位:百万ドル

売上高	通貨	14年実績	15年予想	進捗
ドア事業 (CDS)	(カナダ\$)	69	64.5	原油価格下落によるカナダ西部の景況感の悪化、カナダドル安により、減収となった。
自動ドア (ホートン ドアサービス事業)	(US\$)	24	37.9	ERPシステムの安定稼働や、2014年に買収した、ホートンオートマティックスオブオンタリオ社の効果により増収見込み

3. 新ERP導入

競争力強化および適正在庫管理による資材コスト削減等、経営コストの低減

■ 2015年8月に開閉機部門(ジニー)へ導入し、稼働中

導入実績:2013年にトドコ(車両ドア)、2014年にホートン(自動ドア)へ導入

※ドア事業(ASD)への導入は2016年度以降



10. 重点方針の進捗について(欧州)

1. 産業用ドア事業

昨年買収したアルファ社との統合により、欧州事業の基盤強化



2015年度シナジー効果予想: 1.5M€

期待シナジー効果	実施策
①商品相互供給による拡販	<ul style="list-style-type: none"> ・NF製スピードローラーをアルファ社顧客へ販売し、受注が堅調に推移 ・アルファ社製セクショナルドアをNFチャンネルで販売し、大型受注獲得
②販売・生産部門の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年9月に、NFドイツのディーラー向け事業をアルファ社に統合
③物流費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファ社とNFの物流事業者を一本化し、配送効率を向上

2. ヒンジドア事業

国ごとに制定されていたドアの耐火基準が、2015年12月に統一



新耐火基準対応ドア
「Novo Porta Premio」

欧州新耐火基準(EN16034)により、今後は欧州33カ国で統一基準の耐火ドアが販売可能となる。NFの欧州全域での販売ネットワークを生かし、ヒンジドア事業の更なる拡大を図る。

まずは、新耐火基準対応ドア「Novo Porta Premio」をドイツ市場で2015年1月に、競合他社に先行して販売開始



11. アジアの事業基盤確立

	14年度	15年度		
		上期実績	通期予想	期初予想
売上	52億円	30億円	77億円	77億円
営業利益	▲1.8億円	▲1.4億円	▲1.3億円	1.0億円

※アジア各社は持分法適用会社(6社)

※15年度実績、予想はドンバンNFを含んで表示

2015年度上期のアジア事業は、中国経済の変動や各地域の市場も弱含みで推移するなか増収となったが、利益は地域間でバラツキがあり黒字化に届かず、事業基盤の確立に課題を残した。下期は課題解決の実行スピードを上げ営業黒字達成を目指す。

	2015年度上期実績について	2015年度の通期見通し
上海宝産三和	宝鋼集団からの売上が伸長し増収となったが、販管費増等により減益	継続してローカルの産業案件の取込みに注力し、通年では増収・増益の見通し
NF上海	防火ドアのライセンス一時停止により受注が大幅に減少し減収・減益	今年度内に防火ライセンスを回復する予定だが、上期の遅れを取り戻せず大幅な減収・減益の見通し
ビナサンワ（ベトナム）	日系物件が減少する中、ローカル・輸出物件が伸びて増収・増益	ローカル・輸出物件の売上増とコストダウンにより増収・増益を見込む
安和金属（台湾）	建設現場の工期遅延・停滞などから減収、営業員増強など販管費増加が要因となり減益	大型物件の完工予定や増減精算を見込み、通年では増収・増益の見通し
三和香港	売上は微減、手持大型物件の設計費増や一部現場の是正費用増により減益	商業案件やメンテナンスに注力し増収を見込むが、上期販管費をカバーできず通年では減益予測
ドンバンNF（韓国）	国内大型物件の受注・売上が順調に推移し、増収・増益	海外案件停滞を国内大型物件や地場物件でカバーし増収・増益を見込む

12. グローバル・シナジーの発揮

テーマおよび取組み事例	15年度上期実績	通期予想
<p>1. 戦略商品のグローバル展開</p>	2.9億円	4.1億円
<p>■高機能シャッター開発 ODCで、グループ各社の開発ノウハウを活かし、高機能シャッターを開発、2016年発売に向けて予定通り進捗中</p>		
<p>2. 低コスト国からの調達拡大</p>	4.0億円	8.2億円
<p>■共同調達会社設立 5月に設立した共同調達会社(SGPC)が窓口となり、調達品の拡大につき、三和シャッター、ODC、NFと連携強化し、順次展開中</p>	<p>贊合貿易(上海)有限公司</p>  <p>Sanwa- GPC (Shanghai) Corporation</p>	
<p>3. 製品の相互補完・供給の拡大</p>	0.3億円	1.0億円
<p>■モンゴルの大型現場への輸出 ドンバンNF(韓国)、ODC(米国)が協働で、新ウランバートル国際空港向けのドア製品を受注。</p>		
<p>合計</p>	7.2億円	13.3億円

※上記金額は、各グループ会社の業績(利益)に含んでいます。

■ 参考資料

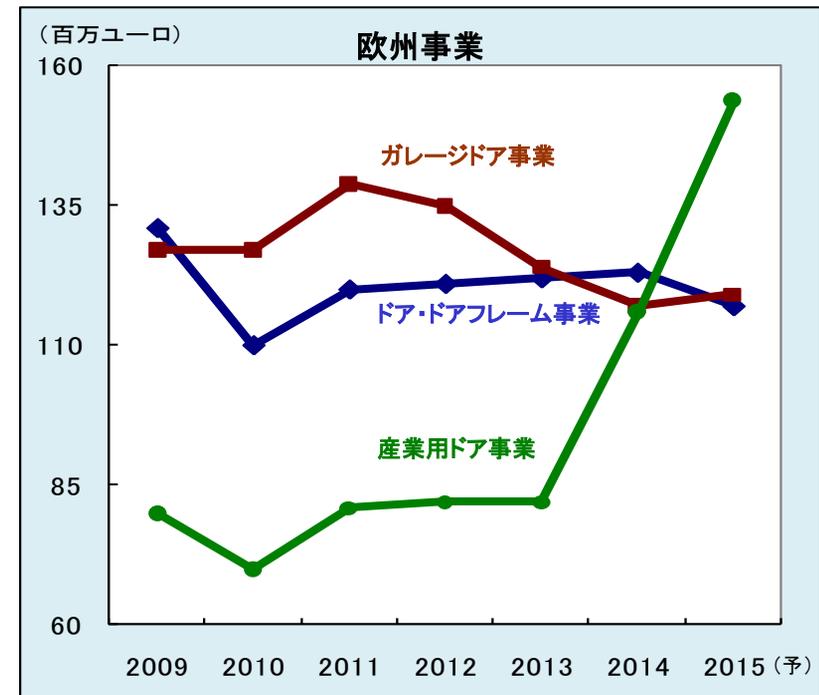
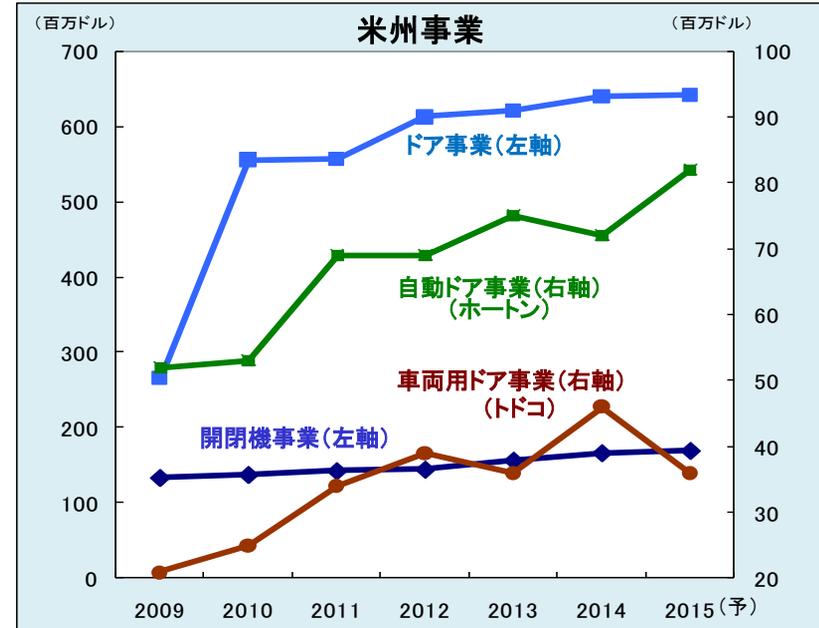
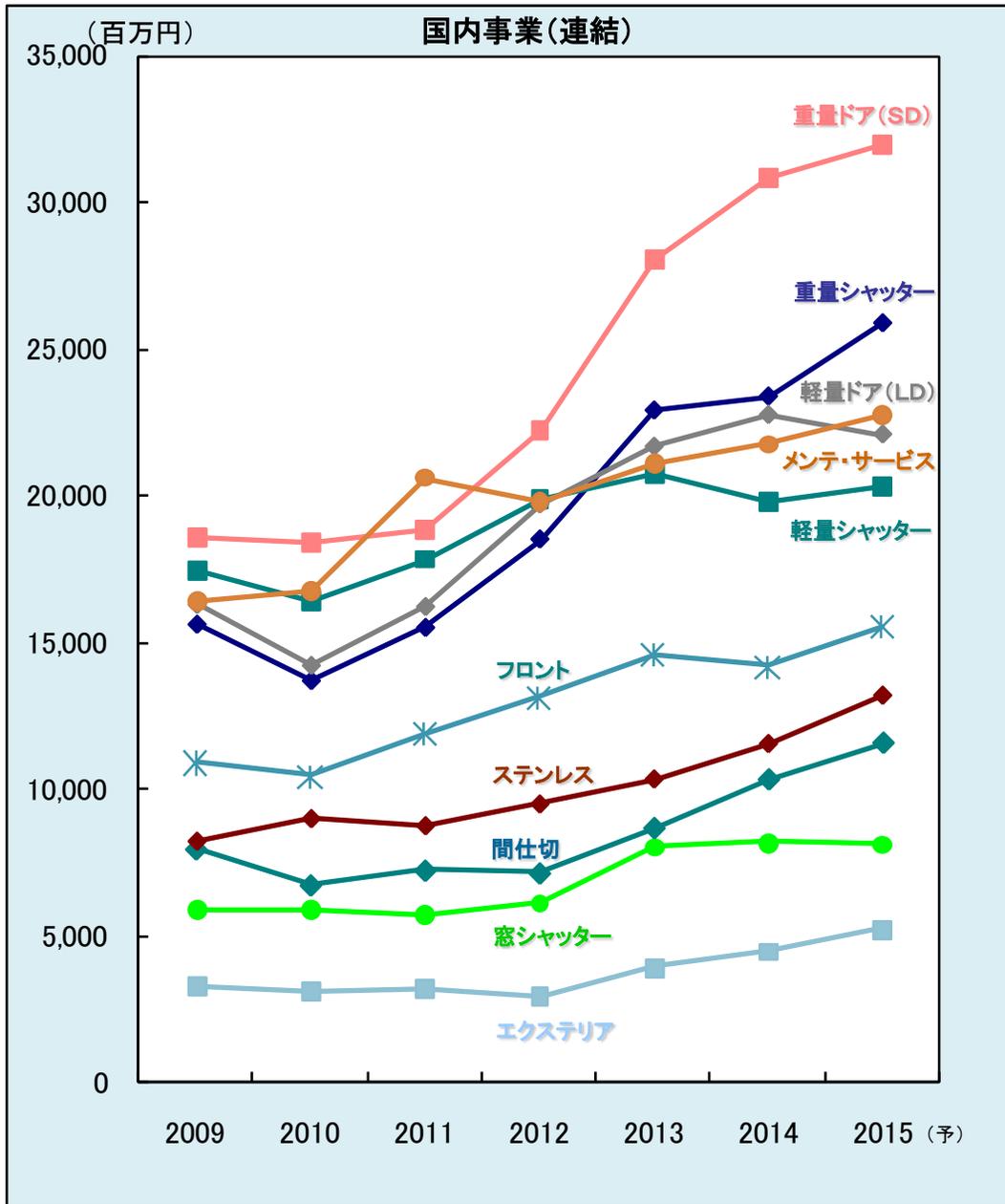
参考資料1. セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2014年度									2015年度										
	第2四半期累計			第3・第4四半期合計			通期			第2四半期累計			第3・第4四半期合計(予想)			通期(修正予想)				
	(@102.23 @139.87)	利益率	前年 増減率		利益率	前年 増減率	(@106.46 @140.35)	利益率	前年 増減率	期初予想 (@120.00 @130.00)	(@120.48 @133.83)	利益率	前年 増減率		利益率	前年 増減率	期初予想 (@120.00 @130.00)	(@120.00 @130.00)	利益率	前年 増減率
売上高	146,406		(8.9)	192,639		(8.5)	339,045		(8.7)	160,000	160,926		(9.9)	205,073		(6.5)	370,000	366,000		(8.0)
[前年為替適用]											[154,249]		(5.4)	[203,195]		(5.5)	[357,444]		(5.4)	
三和シャッター工業	71,942		(10.3)	97,477		(2.3)	169,419		(5.5)	74,000	75,928		(5.5)	104,071		(6.8)	178,500	180,000		(6.2)
その他国内子会社	12,258		(2.6)	16,850		(1.3)	29,108		(1.8)	12,700	12,984		(5.9)	18,015		(6.9)	30,650	31,000		(6.5)
ODC(米国)	\$425,869		(1.8)	\$499,402		(5.8)	\$925,271		(3.9)	\$440,000	\$426,234		(0.1)	\$503,765		(0.9)	\$985,000	\$930,000		(0.5)
	43,536		(8.5)	54,967		(16.6)	98,504		(12.9)	52,800	51,352		(18.0)	60,247		(9.6)	118,200	111,600		(13.3)
ノボフェルム(欧州)	€ 157,735		(Δ1.6)	€ 198,443		(18.1)	€ 356,178		(8.5)	€ 191,000	€ 182,355		(15.6)	€ 207,644		(4.6)	€ 395,000	€ 390,000		(9.5)
	22,062		(9.5)	27,927		(23.0)	49,989		(16.7)	24,830	24,404		(10.6)	26,295		(Δ5.8)	51,350	50,700		(1.4)
営業利益	7,140	[4.9]	(58.2)	19,193	[10.0]	(19.0)	26,334	[7.8]	(27.5)	6,700	6,051	[3.8]	(Δ15.3)	21,948	[10.7]	(14.4)	28,000	28,000	[7.7]	(6.3)
[前年為替適用]											[5,900]		(Δ17.4)	[21,360]		(11.3)	[27,261]		(3.5)	
三和シャッター工業	5,239	[7.3]	(45.1)	12,277	[12.6]	(24.5)	17,517	[10.3]	(30.0)	5,250	5,601	[7.4]	(6.9)	12,948	[12.4]	(5.5)	18,000	18,550	[10.3]	(5.9)
その他国内子会社	447	[3.6]	(52.8)	1,234	[7.3]	(19.8)	1,682	[5.8]	(27.1)	240	392	[3.0]	(Δ12.5)	1,507	[8.4]	(22.2)	1,750	1,900	[6.1]	(12.9)
ODC(米国)	\$15,483		(48.2)	\$43,700		(11.4)	\$59,183		(19.1)	\$16,000	\$7,960		(Δ48.6)	\$55,039		(25.9)	\$72,000	\$63,000		(6.4)
	1,582	[3.6]	(57.9)	4,717	[8.6]	(22.0)	6,300	[6.4]	(29.4)	1,920	959	[1.9]	(Δ39.4)	6,600	[11.0]	(39.9)	8,640	7,560	[6.8]	(20.0)
ノボフェルム(欧州)	Δ€493		(+)	€ 11,211		(10.1)	€ 10,718		(30.0)	€ 1,000	Δ€901		(-)	€ 11,901		(6.2)	€ 11,500	€ 11,000		(2.6)
	Δ68	[Δ0.3]	(+)	1,573	[5.6]	(19.2)	1,504	[3.0]	(39.7)	130	Δ120	[Δ0.5]	(-)	1,550	[5.9]	(Δ1.4)	1,495	1,430	[2.8]	(Δ4.9)
経常利益	6,826	[4.7]	(58.8)	19,149	[9.9]	(19.6)	25,975	[7.7]	(27.9)	6,300	5,640	[3.5]	(Δ17.4)	21,759	[10.6]	(13.6)	27,400	27,400	[7.5]	(5.5)
[前年為替適用]											[5,517]		(Δ19.2)	[21,172]		(10.6)	[26,890]		(2.8)	
三和シャッター工業	5,432	[7.6]	(44.1)	12,819	[13.2]	(28.2)	18,251	[10.8]	(32.6)	5,360	5,688	[7.5]	(4.7)	13,011	[12.5]	(1.5)	18,200	18,700	[10.4]	(2.5)
その他国内子会社	474	[3.9]	(52.3)	1,264	[7.5]	(20.6)	1,738	[6.0]	(27.8)	251	405	[3.1]	(Δ14.5)	1,514	[8.4]	(19.8)	1,772	1,920	[6.2]	(10.4)
ODC(米国)	\$15,205		(58.7)	\$42,270		(7.9)	\$57,476		(17.9)	\$14,800	\$6,196		(Δ59.2)	\$53,903		(27.5)	\$69,100	\$60,100		(4.6)
	1,554	[3.6]	(69.1)	4,564	[8.3]	(18.3)	6,118	[6.2]	(28.0)	1,776	746	[1.5]	(Δ52.0)	6,465	[10.7]	(41.6)	8,292	7,212	[6.5]	(17.9)
ノボフェルム(欧州)	Δ€701		(+)	€ 11,147		(22.5)	€ 10,446		(90.6)	€ 300	Δ€1,595		(-)	€ 11,595		(4.0)	€ 10,200	€ 10,000		(Δ4.3)
	Δ98	[Δ0.4]	(+)	1,564	[5.6]	(33.6)	1,466	[2.9]	(104.9)	39	Δ213	[Δ0.9]	(-)	1,513	[5.8]	(Δ32)	1,326	1,300	[2.6]	(Δ11.3)
持分法適用会社投資損益	Δ207		(-)	Δ13		(-)	Δ220		(-)	Δ150	Δ91		(+)	166		(+)	75	75		(+)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,286	[2.2]	(258.8)	9,570	[5.0]	(3.5)	12,857	[3.8]	(26.5)	3,200	3,226	[2.0]	(Δ1.8)	10,773	[5.3]	(12.6)	14,000	14,000	[3.8]	(8.9)
[前年為替適用]											[3,147]		(Δ4.2)	[10,418]		(8.9)	[13,568]		(5.5)	
三和シャッター工業	3,416	[4.7]	(201.4)	8,328	[8.5]	(36.9)	11,745	[6.9]	(62.8)	3,380	3,786	[5.0]	(10.8)	8,513	[8.2]	(2.2)	11,830	12,300	[6.8]	(4.7)
その他国内子会社	273	[2.2]	(46.6)	705	[4.2]	(44.1)	979	[3.4]	(44.8)	103	275	[2.1]	(0.5)	974	[5.4]	(38.1)	1,086	1,250	[4.0]	(27.6)
ODC(米国)	\$9,767		(301.4)	\$26,495		(45.6)	\$36,263		(75.8)	\$9,800	\$3,733		(Δ61.8)	\$32,116		(21.2)	\$44,340	\$35,850		(Δ1.1)
	998	[2.3]	(327.9)	2,862	[5.2]	(60.0)	3,860	[3.9]	(90.9)	1,176	449	[0.9]	(Δ55.0)	3,852	[6.4]	(34.6)	5,320	4,302	[3.9]	(11.4)
ノボフェルム(欧州)	Δ€2,132		(-)	€ 5,907		(31.0)	€ 3,775		(54.0)	Δ€300	Δ€1,729		(+)	€ 6,689		(13.2)	€ 5,900	€ 4,960		(31.4)
	Δ298	[Δ1.4]	(-)	828	[3.0]	(43.1)	529	[1.1]	(65.6)	Δ39	Δ231	[Δ0.9]	(+)	875	[3.3]	(5.7)	767	644	[1.3]	(21.6)
持分法適用会社投資損益	Δ207		(-)	Δ13		(-)	Δ220		(-)	Δ150	Δ91		(+)	166		(+)	75	75		(+)

- 2015年度の「」内は、前年の為替換算レートを用いた場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。【 】内は利益率。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向



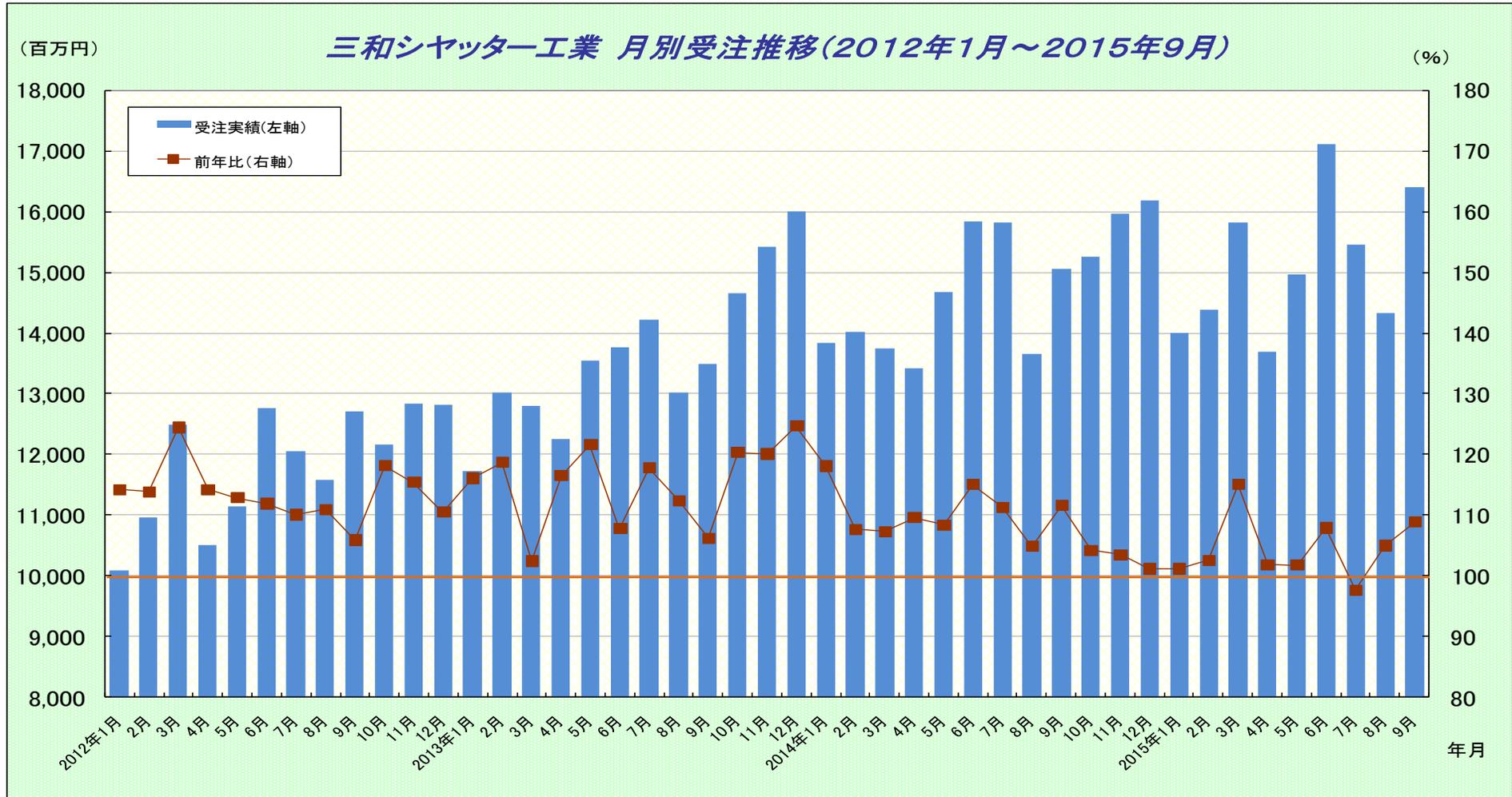
参考資料3. 日本:製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2014年度 (H26年度)												2015年度 (H27年度)											
		上期			下期			通期			上期 (実績)			下期 (予想)			通期 (予想)								
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比				
シャッター製品	軽量	(△0.2) 13,560	(0.5) 13,074	18.2	(△3.2) 13,647	(△6.5) 13,690	14.0	(△1.7) 27,207	15.1	(△3.2) 26,765	15.8	(4.6) 14,185	(3.0) 13,471	17.7	(2.2) 13,944	(3.6) 14,188	13.6	(3.4) 28,130	14.8	(3.3) 27,660	15.4				
	重量	(5.8) 16,897	(8.5) 13,729	19.1	(14.2) 18,365	(△0.7) 18,183	18.7	(10.0) 35,262	19.6	(3.1) 31,913	18.8	(2.5) 17,324	(5.6) 14,496	19.1	(2.1) 18,745	(10.3) 20,053	19.3	(2.3) 36,070	19.0	(8.3) 34,550	19.2				
	小計	(3.1) 30,458	(4.5) 26,803	37.3	(6.1) 32,012	(△3.3) 31,874	32.7	(4.6) 62,470	34.7	(0.1) 58,678	34.6	(3.5) 31,510	(4.3) 27,967	36.8	(2.1) 32,689	(7.4) 34,242	32.9	(2.8) 64,200	33.9	(6.0) 62,210	34.6				
シャッター関連	OSD	(△1.5) 2,937	(2.0) 2,701	3.8	(0.5) 3,153	(△6.7) 3,271	3.4	(△0.5) 6,090	3.4	(△2.9) 5,973	3.5	(7.9) 3,170	(△0.5) 2,687	3.5	(6.2) 3,349	(7.3) 3,512	3.4	(7.0) 6,520	3.4	(3.8) 6,200	3.4				
	その他	(4.1) 5,367	(5.8) 4,457	6.2	(11.1) 6,035	(△0.0) 6,129	6.3	(7.7) 11,403	6.3	(2.4) 10,586	6.2	(10.9) 6,038	(3.3) 4,706	6.2	(6.7) 6,451	(9.1) 6,743	6.5	(8.7) 12,490	6.6	(6.6) 11,450	6.4				
	小計	(4.1) 8,305	(5.8) 7,159	10.0	(11.1) 9,188	(△0.0) 9,401	9.6	(7.7) 17,493	9.7	(2.4) 16,560	9.8	(10.9) 9,209	(3.3) 7,394	9.7	(6.7) 9,800	(9.1) 10,255	9.9	(8.7) 19,010	10.0	(6.6) 17,650	9.8				
ドア製品	ビル・マンション	(12.7) 28,762	(13.5) 20,269	28.2	(△0.3) 28,397	(4.3) 33,879	34.8	(5.8) 57,160	31.7	(7.5) 54,148	32.0	(1.6) 29,213	(1.3) 20,534	27.0	(6.4) 30,226	(1.1) 34,255	32.9	(4.0) 59,440	31.4	(1.2) 54,790	30.4				
	住宅	(54.4) 1,617	(54.7) 1,616	2.2	(17.0) 1,800	(16.8) 1,801	1.8	(32.1) 3,418	1.9	(32.1) 3,417	2.0	(15.5) 1,868	(15.6) 1,868	2.5	(15.6) 2,081	(15.5) 2,081	2.0	(15.6) 3,950	2.1	(15.6) 3,950	2.2				
	小計	(14.4) 30,380	(15.7) 21,885	30.4	(0.6) 30,198	(4.8) 35,680	36.6	(7.0) 60,578	33.6	(8.7) 57,566	34.0	(2.3) 31,082	(2.4) 22,403	29.5	(7.0) 32,307	(1.8) 36,336	34.9	(4.6) 63,390	33.5	(2.0) 58,740	32.6				
	窓製品	(13.3) 4,356	(13.1) 4,318	6.0	(△6.8) 4,377	(△7.0) 4,394	4.5	(2.3) 8,734	4.8	(2.0) 8,713	5.1	(△6.1) 4,091	(△5.3) 4,091	5.4	(4.6) 4,578	(4.0) 4,568	4.4	(△0.7) 8,670	4.6	(△0.6) 8,660	4.8				
	エクステリア製品	(19.6) 1,995	(31.4) 1,861	2.6	(3.0) 2,128	(2.1) 2,119	2.2	(10.4) 4,124	2.3	(14.0) 3,981	2.3	(16.8) 2,331	(13.7) 2,117	2.8	(15.9) 2,468	(12.4) 2,382	2.3	(16.4) 4,800	2.5	(13.0) 4,500	2.5				
その他の製品	間仕切製品	(18.8) 5,683	(19.8) 3,961	5.5	(10.0) 5,766	(18.6) 6,293	6.5	(14.2) 11,449	6.4	(19.1) 10,254	6.1	(10.4) 6,276	(10.6) 4,381	5.8	(13.1) 6,523	(13.1) 7,118	6.8	(11.8) 12,800	6.8	(12.1) 11,500	6.4				
	ステンレス製品	(67.4) 3,666	(42.9) 1,927	2.7	(16.3) 3,326	(33.4) 3,622	3.7	(38.4) 6,992	3.9	(36.5) 5,550	3.3	(△27.7) 2,652	(16.0) 2,236	2.9	(0.6) 3,347	(1.1) 3,663	3.5	(△14.2) 6,000	3.2	(6.3) 5,900	3.3				
	フロント製品	(△0.7) 456	(△14.1) 360	0.5	(54.7) 700	(14.4) 597	0.6	(26.7) 1,157	0.6	(1.7) 958	0.6	(79.2) 818	(129.6) 827	1.1	(11.6) 781	(29.2) 772	0.7	(38.3) 1,600	0.8	(67.0) 1,600	0.9				
	自動ドアエンジン	(13.4) 1,292	(12.3) 1,128	1.6	(10.0) 1,427	(5.9) 1,430	1.5	(11.6) 2,719	1.5	(8.6) 2,559	1.5	(2.5) 1,324	(15.0) 1,297	1.7	(6.2) 1,515	(4.3) 1,492	1.4	(4.4) 2,840	1.5	(9.0) 2,790	1.6				
	その他	(10.3) 1,918	(14.6) 2,534	3.5	(10.3) 2,495	(15.6) 2,061	2.1	(15.7) 4,413	2.5	(15.2) 4,596	2.7	(5.4) 2,652	(20.6) 3,210	4.2	(14.5) 3,537	(16.3) 3,239	3.1	(10.1) 6,190	3.3	(18.1) 6,450	3.6				
	小計	(22.0) 13,016	(14.6) 9,912	13.8	(10.3) 13,715	(15.6) 14,006	14.4	(15.7) 26,732	14.8	(15.2) 23,918	14.1	(5.4) 13,723	(20.6) 11,954	15.7	(14.5) 15,706	(16.3) 16,285	15.6	(10.1) 29,430	15.5	(18.1) 28,240	15.7				
	合計	(10.3) 88,513	(10.3) 71,942	100.0	(4.5) 91,621	(2.3) 97,477	100.0	(7.3) 180,135	100.0	(5.5) 169,419	100.0	(3.9) 91,948	(5.5) 75,928	100.0	(6.5) 97,551	(6.8) 104,071	100.0	(5.2) 189,500	100.0	(6.2) 180,000	100.0				
	ビル建材部門	(13.0) 57,607	(13.3) 41,735	58.0	(6.7) 58,495	(4.6) 64,597	66.3	(9.7) 116,103	64.5	(7.8) 106,332	62.8	(2.7) 59,189	(5.8) 44,145	58.1	(6.4) 62,210	(6.6) 68,854	66.2	(4.6) 121,400	64.1	(6.3) 113,000	62.8				
	店装建材部門	(△1.6) 10,800	(△0.9) 10,243	14.2	(△1.7) 11,092	(△7.2) 10,993	11.3	(△1.6) 21,892	12.2	(△4.3) 21,236	12.5	(7.5) 11,614	(6.2) 10,873	14.3	(1.7) 11,285	(3.9) 11,426	11.0	(4.6) 22,900	12.1	(5.0) 22,300	12.4				
	住宅建材部門	(19.3) 8,348	(21.5) 8,172	11.4	(△0.7) 8,712	(△1.0) 8,730	9.0	(8.2) 17,060	9.5	(8.7) 16,902	10.0	(3.9) 8,670	(3.4) 8,453	11.1	(10.5) 9,629	(9.3) 9,546	9.2	(7.3) 18,300	9.7	(6.5) 18,000	10.0				
	メンテ・サービス	(4.9) 10,328	(4.1) 9,889	13.7	(3.7) 11,418	(2.3) 11,703	12.0	(4.3) 21,747	12.1	(3.1) 21,592	12.7	(5.0) 10,843	(3.2) 10,208	13.4	(5.6) 12,056	(5.6) 12,361	11.9	(5.3) 22,900	12.1	(4.5) 22,570	12.5				
	その他	(4.9) 1,428	(4.1) 1,901	2.6	(3.7) 1,903	(2.3) 1,452	1.5	(4.3) 3,331	1.8	(3.1) 3,354	2.0	(5.0) 1,629	(3.2) 2,246	3.0	(5.6) 2,370	(5.6) 1,883	1.8	(5.3) 4,000	2.1	(4.5) 4,130	2.3				
	金額				金額		金額		金額		金額		金額		金額		金額		金額		金額				
	手持残高		76,207			70,115			10,579			77,321			71,136			1,021							
うち	仕掛品		18,945			14,851			2,396			21,527			15,000			148							

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料4. 日本:三和シャッター工業受注状況



2015年度上期受注実績は919億円[前年比+3.9%]

■受注動向

- ・受注実績合計は、期初予想(900億円)を約19億円(+2.1%)上回った。
- ・住宅関連では戸建向けが堅調、非住宅向けでは、オフィス・倉庫向けが引き続き堅調。
- ・工場、ホテル向けが設備投資や外国人観光客の増加により、需要が改善。

参考資料5. 米国:部門別売上高(ODC)

(千ドル・%)

		2014年度						2015年度					
		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
部門別売上高	ドア部門	(1.1) 291,246	68.4	(4.4) 348,257	69.7	(2.9) 639,503	69.1	(0.4) 292,538	68.6	(0.4) 349,761	69.4	(0.4) 642,300	69.1
	開閉機部門	(7.5) 81,224	19.1	(5.4) 86,199	17.3	(6.4) 167,423	18.1	(△3.5) 78,411	18.4	(6.5) 91,788	18.2	(1.7) 170,200	18.3
	自動ドア部門	(△10.2) 31,737	7.5	(△0.3) 40,157	8.0	(△4.9) 71,894	7.8	(14.7) 36,401	8.5	(13.5) 45,598	9.1	(14.1) 82,000	8.8
	車両部門	(12.6) 21,662	5.1	(49.0) 24,789	5.0	(29.5) 46,451	5.0	(△12.8) 18,882	4.4	(△33.0) 16,617	3.3	(△23.6) 35,500	3.8
売上高		(1.8) 425,869	100.0	(5.8) 499,401	100.0	(3.9) 925,271	100.0	(0.1) 426,234	100.0	(0.9) 503,765	100.0	(0.5) 930,000	100.0
営業利益		(48.2) 15,483	3.6	(11.4) 43,699	8.8	(19.1) 59,183	6.4	(△48.6) 7,960	1.9	(25.9) 55,039	11.0	(6.4) 63,000	6.8
経常利益		(58.7) 15,205	3.6	(7.9) 42,270	8.5	(17.9) 57,476	6.2	(△59.2) 6,196	1.5	(27.5) 53,903	10.7	(4.6) 60,100	6.5
当期純利益		(301.4) 9,767	2.3	(45.6) 26,495	5.3	(75.8) 36,263	3.9	(△61.8) 3,733	0.9	(21.2) 32,116	6.4	(△1.1) 35,850	3.9
EBIT		(58.8) 15,338	3.6	(7.2) 42,204	8.5	(17.4) 57,543	6.2	(△59.0) 6,296	1.5	(27.0) 53,604	10.6	(4.1) 59,900	6.4
EBITDA		(34.2) 26,341	6.2	(8.1) 53,806	10.8	(15.5) 80,147	8.7	(△31.8) 17,955	4.2	(23.7) 66,545	13.2	(5.4) 84,500	9.1

1. ()内は前年増減率を示す。

2. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

参考資料6. 欧州:所在地別売上高(NF)

(千ユーロ、%)

		2014年度						2015年度					
		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
所在地別	ドイツ	(Δ0.6)		(Δ3.7)		(Δ2.2)		(Δ6.7)		(3.8)		(Δ1.3)	
		108,118	68.5	114,104	57.5	222,222	62.4	100,928	55.3	118,472	57.1	219,400	56.3
	フランス	(Δ7.8)		(Δ11.7)		(Δ9.7)		(Δ3.9)		(4.2)		(Δ0.2)	
		33,206	21.1	28,111	14.2	61,317	17.2	31,919	17.5	29,281	14.1	61,200	15.7
	イタリア	(18.6)		(7.4)		(12.2)		(Δ7.1)		(Δ12.4)		(Δ10.0)	
		11,010	7.0	13,098	6.6	24,108	6.8	10,229	5.6	11,471	5.5	21,700	5.6
	オランダ	(0.5)		(122.4)		(61.2)		(107.8)		(8.1)		(39.4)	
		29,146	18.5	63,923	32.2	93,069	26.1	60,574	33.2	69,126	33.3	129,700	33.3
売上高		(Δ1.6)		(18.1)		(8.5)		(15.6)		(4.6)		(9.5)	
		157,735	100.0	198,443	100.0	356,178	100.0	182,355	100.0	207,644	100.0	390,000	100.0
営業利益		(+)		(10.1)		(30.0)		(-)		(6.2)		(2.6)	
		Δ493	Δ0.3	11,211	5.6	10,718	3.0	Δ901	Δ0.5	11,901	5.7	11,000	2.8
経常利益		(+)		(22.5)		(90.6)		(-)		(4.0)		(Δ4.3)	
		Δ701	Δ0.4	11,147	5.6	10,446	2.9	Δ1,595	Δ0.9	11,595	5.6	10,000	2.6
当期純利益		(-)		(31.0)		(54.0)		(+)		(13.2)		(31.4)	
		Δ2,132	Δ1.4	5,907	3.0	3,775	1.1	Δ1,729	Δ0.9	6,689	3.2	4,960	1.3
EBIT		(+)		(57.9)		(81.6)		(+)		(Δ17.2)		(Δ12.3)	
		Δ2,425	Δ1.5	15,979	8.1	13,554	3.8	Δ1,331	Δ0.7	13,224	6.4	11,893	3.0
EBITDA		(5.2)		(47.2)		(41.9)		(118.0)		(Δ11.2)		(0.8)	
		2,318	1.5	22,567	11.4	24,885	7.0	5,052	2.8	20,040	9.7	25,093	6.4

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。

2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段()は前年増減率を示す。

3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

参考資料7. 主要経営指標

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度	
						予想	期初予想
売上高 (百万円)	237,295	248,214	265,913	311,957	339,045	366,000	370,000
営業利益 (のれん償却前) (百万円)	4,562 (6,078)	8,855	14,174	20,649	26,334	28,000	28,000
純利益 (のれん等償却前) (百万円)	-2,443 (1,887)	3,297	7,182	10,161	12,857	14,000	14,000
売上高営業利益率 (のれん償却前) (百万円)	1.9% (2.6%)	3.6%	5.3%	6.6%	7.8%	7.7%	7.6%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん等償却前)	-2.7% (2.1%)	3.8%	7.9%	9.6%	10.7%	10.9%	10.7%
自己資本比率(期末)	39.3%	37.7%	40.1%	40.4%	39.1%	39.8%	40.7%
期末純資産 (百万円)	86,012	85,522	97,134	113,956	126,748	131,100	136,100
期末総資産 (百万円)	218,933	226,580	241,771	281,917	323,327	329,500	334,500
期末有利子負債 (百万円)	59,892	61,607	60,799	69,153	88,483	72,100	72,100
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産 (倍)	0.70	0.72	0.63	0.61	0.70	0.55	0.53
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	-2,661	-1,201	1,870	5,410	7,770	8,100	8,100
EPS: 1株純利益 (のれん償却前) (円)	-10.2 (7.9)	13.7	29.9	42.4	54.1	60.4	59.9
発行済株式数(期中平均) (千株)	240,321	240,306	239,961	239,768	237,694	231,978	233,672

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

参考資料8. 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2013年度		2014年度		2015年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	3,247	7,116	3,199	7,727	4,073	9,650
三和シャッター工業	837	2,143	942	1,934	1,037	3,000
三和ホールディングス	208	251	122	492	129	500
為替レート ()内は千ドル表示	95.90 (\$17,359)	97.99 (\$32,042)	102.23 (\$15,180)	106.46 (\$32,216)	120.48 (\$14,396)	120.00 (\$28,000)
ODC	1,664	3,139	1,551	3,429	1,734	3,360
為替レート ()内は千ユーロ表示	125.79 (€4,097)	130.56 (€10,743)	139.87 (€3,861)	140.35 (€12,205)	133.83 (€5,294)	130.00 (€13,000)
Novoform	515	1,402	540	1,712	708	1,690
国内連結子会社	21	179	42	157	463	1,100
減価償却費	3,134	6,626	3,536	8,123	4,520	9,430
三和シャッター工業	1,074	2,306	1,231	2,612	1,229	2,693
三和ホールディングス	232	472	228	466	242	487
ODC	(\$9,967)	(\$20,370)	(\$11,003)	(\$22,604)	(\$11,659)	(\$24,600)
Novoform	955	1,996	1,124	2,406	1,404	2,952
国内連結子会社	(\$4,858)	(€10,070)	(€4,743)	(€11,331)	(€6,383)	(€13,200)
のれん償却額	611	1,314	663	1,590	854	1,716
	41	89	52	113	65	161
	218	446	235	935	724	1,420
有形固定資産償却費	1,886	3,969	2,025	4,495	2,423	5,162
三和シャッター工業	311	752	425	972	490	1,171
三和ホールディングス	231	469	228	464	241	485
ODC	(\$8,010)	(\$15,785)	(\$7,210)	(\$15,524)	(\$8,131)	(\$17,000)
Novoform	768	1,546	737	1,652	979	2,040
国内連結子会社	(€4,283)	(€8,581)	(€4,205)	(€9,320)	(€4,987)	(€10,400)
	538	1,120	588	1,308	667	1,352
	37	80	46	96	43	113
無形固定資産償却費	1,248	2,656	1,510	3,628	2,097	4,267
三和シャッター工業	763	1,554	805	1,639	739	1,522
三和ホールディングス	1	2	0	1	0	1
ODC	(\$1,957)	(\$4,584)	(\$3,792)	(\$7,079)	(\$3,528)	(\$7,600)
Novoform	187	449	387	753	425	912
国内連結子会社	(€575)	(€1,488)	(€538)	(€2,010)	(€1,395)	(€2,800)
のれん償却額	72	194	75	282	186	364
	4	9	5	16	21	47
	218	446	235	935	724	1,420

参考資料9. トピックス

◆2015年1月



新耐火基準対応ドア 「Novo Porta Premio」を発売



欧州新耐火基準(EN16034)が2015年7月で公示され、ノポフェルムでは新耐火基準対応ドア「Novo Porta Premio」を先行してドイツ市場で2015年1月より発売開始した。

◆2015年4月



都市型水害に対応した防水商品 「ウォーターガード Sタイトドア/ eシート」を発売



三和シャッター工業が、集中豪雨などによる災害時に建物内部への浸水を防ぐ防水商品「ウォーターガード Sタイトドア」と、簡易型防水商品「ウォーターガード eシート」を発表した。

◆2015年4月



4年連続でオーバーヘッドドアが 「女性が選ぶガレージドア部門賞」を受賞

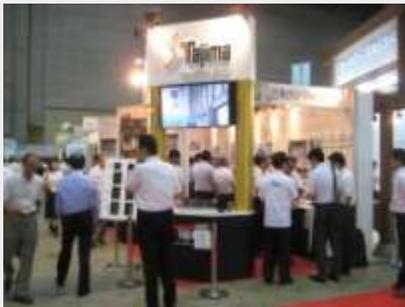


ODCのガレージドアブランドオーバーヘッドが、ウーマンサーティファイド社による女性が選ぶ優秀製品調査において、4年連続でガレージドア部門賞を受賞しました。

◆2015年7月



三和タジマが 文化財保存・復元技術展に出展



三和タジマでは、これまで培ってきた近代建築の復元・修復技術を活かし、重要文化財の金属製品修復の実物展示(於:東京ビックサイト)を行った。

◆2015年10月



新会社「三和ミタカ」設立 およびドア事業譲受について



三和ミタカ株式会社を新たに設立し、株式会社ミタカ工業からドア事業の譲受を実施した。多品種化の一環として、ドアの商品ラインナップ拡大を図る。

◆2015年7月

格付投資情報センター(R&I)より格付け変更
A- (ポジティブ) からA (安定的) に格上げ

◆2015年8月

JPX 日経インデックス400 構成銘柄へ追加

◆2015年9月

アニュアルレポート2015を発行
今回より英文だけでなく和文も発行し、より当社の理解度向上に努める



「動く建材」で世界の暮らしを支える

三和ホールディングス株式会社